



はあもにい

しげい腎クリニック早島が10月開院 ～オープニングスタッフが決定しました～

しげい腎クリニック早島開院準備室 統括マネジャー 田中 昭彦



▲毎週水曜日に開院準備室の幹部会議を行っています

■ 10 月開院に向けて

建築工事は、8月末の完成引き渡しに向け順調に進捗中です。いよいよ2月29日（木）に鉄骨工事が始まり、建物の全容が見えて来る予定です。ぜひ、皆さんも建築中の建物を見に行ってみてください。また、2月2日（金）には設計事務所の方と一緒に備中保健所を訪問し、10月開院に向けた行政手続きの確認を行いました。

■オープニングスタッフも決定

2023年11月に発足したしげい腎クリニック早島の開院準備室。松原先生他3名のメンバーで打ち合わせを進めてきましたが、いよいよ10月の開院時に勤務をするスタッフが決定しました。（本誌 最終面に記載）どのスタッフもしげい病院、研究所附属病院の透析室での経験が十分なメンバーとなりました。2月7日（水）には、オープニングスタッフ12人全員が集まり、キックオフミーティングを行いました。当面は、各病院での通常業務と開院に向けた什器・備品の選定や業務マニュアルの整備などの業務を兼務しつつ、開院に向けた打ち合わせなどに参加いただく予定です。

■オール創和会で準備中です

開院準備室では3月中に、ベッドや家具、事務機など、大きな物品の選定が終了する予定です。現在、広くしげい腎クリニック早島のことを知ってもらうために、しげい病院のデザイン担当者とパンフレットやホームページの作成を進めています。また、情報システムについては研究所附属病院のシステム担当者がシステムベンダーと具体的な打ち合わせを行っており、まさにオール創和会で準備を進めています。



▲基礎工事が終了。3月には鉄骨工事に入ります

この人紹介 !!

～私の履歴書～

昨年、12月から研究所附属病院にて非常勤医として勤務させていただいている坂本尚登と申します。紙面をお借りして自己紹介をさせていただきます。



最近、テレビドラマや映画ロケ地になることもあり、少し認知度が上がった長崎県五島列島の福江島出身です。大自然に恵まれた風光明媚なこの島で、中学までの幼少期を過ごしました。その後、長崎市内の高校を経て1974年、長崎県が離島医療に関わる医師を養成するために提携していた北里大学医学部へ県の委託生として進学しました。これを機に、大学で同級生として知り合い、今日まで50年間お付き合いいただいている盟友が創和会理事長の重井文博先生です。学籍番号が4053、4054と連番で、実習等ではいつも同じ班に属し、苦楽を共にした学生時代でした。

卒後は、重井君が消化器内科、私が腎臓内科と進路を別にしたましたが、米国の国立衛生研究所(NIH)へ海外留学後に東京医科歯科大学第二内科に就職し、臨床・研究に没頭していた折に倉敷で再会しました。この時、私がクローニングしたクロライドチャンネル(CLC5)の解析に必須なモノクローナル抗体を重井医学研究所で作成することに大いに尽力してくれ、技術と資金の両面から多大なる協力をいただきました。その結果、多くの成果を上げることができ新たな運命の扉が開きました。卒後20年間に海外と他大学で研鑽した後、2000年に母校へ戻る機会を得ました。北里大学病院の臨床研修センター長を兼務し、2011年には大学院

医療系研究科腎臓内科学の専任教授に就任、後輩の育成に努めたのち、2021年3月コロナ禍の最中に定年退職しました。これまで、重井医学研究所で受けたご恩に対して、何ら報いることができませんでしたが、昨年、東京で開催された大学時代の同窓会に出席した重井君から腎臓専門医のアシストが必要なため協力できないかとの打診がありました。そこで、これまでの厚情に報いる好機と思い快諾し、横浜から週3日研究所附属病院で透析療法の臨床業務をお手伝いさせていただくことになりました。退職後、しばらく定職につかず体力を温存したことが幸いして、現役時代よりも元気な状態です。一方、体力も18年間続いている愛犬との散歩で維持しています。

現在は、維持透析の日常業務に携わりながら、慢性腎臓病の生命予後に大切な役割を果たす骨ミネラル代謝異常(CKD-MBD)に対する治療効果のさらなる向上を目指して、本プロジェクトに関わるメンバーと共に取り組んでいます。透析を受けている患者さまや透析業務に関わる医療スタッフの方々へご協力をお願いすることがあると思いますが、その節は何卒宜しくお願い申し上げます。

これまで44年間に研鑽した知識と臨床経験を活かして腎疾患を患っている患者さまの診療に務めたいと思います。よろしくお願いします。



▲医学部5年合宿写真
(上段中央が坂本先生・上段一番左が重井理事長)



▲臨床実習(ポリクリ)(上段中央が坂本先生・下段左側が重井理事長)

能登半島地震 災害支援ナース活動報告

しげい病院 看護部 外来 榎原 史絵



▲一緒に活動した災害支援ナースの皆さんと(左から二番目が榎原さん)

はじめに、2024年1月1日に発生した能登半島地震において、お亡くなりになられた方々へご冥福をお祈りすると共に、被害に遭われた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

1月18～21日、石川県輪島市の門前東小学校・門前会館で、災害支援ナースとして活動してきました。現地の道路状況も加味し、前後泊含め5泊6日の活動となりました。道中は、倒壊した家々を真横に見て、道路は通行止めを迂回しながら進み、到着までの時間が計れず、皆リハビリパンツを着用しました。

また、ライフラインの状況や必要物品などの情報が皆無の状態での出発だったため、自分の知識と勘を頼りに荷造りしました。災害支援ナースの活動は自己完結。水や食料、寝袋、トイレも持参するため約20Kg以上の荷物を背負って移動しました。

避難所では感染症が流行しており、基本的な手洗い・うがいや換気を行おうにも、水はなく、ウェットティッシュで清拭後アルコール消毒を行いました。また、地震で歪んで開かない窓もあり、

一方向だけの換気となりました。感染者が増える度に、ゾーニングをタイムリーに強いられる中で、避難者からの不満や罵声を浴びせられることもありましたが、それらは全て、避難生活へのストレスや増えゆく感染状況への不安から表出されたもので、私たちは冷静に一つずつの問題解決へ努めました。ゾーニングにおいては、ジャパンハートの医師の言葉に大変勇気付けられ、それが私の支えにもなりました。

支援することは簡単ですが、フェーズは変化し避難者が共助で生活できるよう、また地域へ戻ることができるような関わりが私たちのミッション。4日間でゴールを迎えた私、避難者のゴールはいつになるのか。私はこれでよかったのかと帰りの車内で自問自答しました。支援のかたちは人それぞれ。「できる人が できる時に できることを」この気持ちでこれからも活動をしていきたいと思っています。

最後になりましたが、私の活動を支えてくださったしげい病院の皆さん、家族、友人に心より感謝いたします。ありがとうございました。

看護部災害対策避難訓練を行いました

しげい病院 看護部 柴田 早苗 (災害対策委員)

毎年開催している、看護部災害対策訓練を1月30日(火)に行いました。

各部署からスタッフ1～2名が参加し、血液浄化療法センターからの避難滑り台を実際に滑ったり、イーバックチェアとエアーストレッチャーで階段を降りたり等の避難訓練を行いました。

参加者からは「イーバックチェアやエアーストレッチャーの設置を知らなかったため参考になった」や「患者体験をすることで緊急時こそ声かけの必要性を実感した」等の感想がきかれました。

また、水消火器の訓練も行いました。毎年行っているためか全員スムーズに消火訓練が行えていました。

震災・火災・水害などの災害時は、停電やエレベーターの停止などあらゆる事態が想定されます。緊急時に患者さんが安全に避難するためには職員の素早い初期対応が求められます。

今回の訓練で災害に対する意識がより高まりました。今後も定期的に訓練を行ってきたいと思います。



▲訓練の様子

新見クリニックで透析中運動療法の訪問指導を行いました

しげい病院 リハビリテーション部 副主任 清水 賢児

1月19日（金）に新見クリニックに訪問指導に行かせていただきました。これは私が、昨年開催された第32回中国腎不全研究会で透析中の運動療法デモンストレーションを行った際、新見クリニックのスタッフの方と話をさせていただいたことから実現しました。

新見クリニックでは、腎リハ学会の講習会を受講された4名の看護師さんがおられ、そのうちの2名の方を中心に透析中の運動療法を行っていました。腎リハガイドラインを参考に運動を行っていて、動画について少し助言をさせていただき、個別に対応して欲しい患者さんには直接評価を行いつつ継続して欲しい運動について伝えさせていただきました。理学療法士がいないクリニックでの透析中の運動療法について、新見クリニックだけでなく、他の施設にもこういった活動をしていく必要があるとも感じました。

最後に、私自身は、どのような患者さんやスタッフにお会いできるか期待と不安がありましたが、新見クリニックのスタッフ・患者さんともに温かく迎え入れていただき非常に嬉しかったです。



▲新見クリニックのスタッフの皆さんと一緒に

しげい病院に IT 関連の見学に行かせていただきました

幸町記念病院 事務部 大賀 一希

幸町記念病院では画像管理システムの更新を控えているため、しげい病院へシステム見学に伺いました。

しげい病院 IT 推進・情報管理室の渡邊係長補佐に案内していただき、放射線部や検査部へお邪魔し運用方法やシステム連携についてお話を伺いました。幸町記念病院にはないシステムや連携をしており、非常に勉強になりました。今回の見学でお忙しい中対応していただきました皆さん、あり

がとうございました。

幸町記念病院では超音波装置を用いた透析シャント管理に注力しているので、今回得たことを活かし、患者さんやスタッフをサポートできるシステム提案をしていきたいです。

その後は、創和会と幸町記念病院との拠点間通信を始めとする IT 関連の話をしました。中でも、情報セキュリティは拠点間通信を行う上で重要事項でありセキュリティレベルを合わせられるよう病院内で取り組んでいきます。

創和会本部・しげい病院・研究所附属病院の IT 担当からなる創和会 IT 会議に、幸町記念病院から私も参加させていただいていて、その中で今回の見学が実現しました。

他医療施設を見学できる機会はあまりない中、このような機会を設けていただき感謝しています。今後も、各医療施設と連携しながら IT 関連の整備に努めていきたいと思います。



▲渡邊係長補佐からたくさん学ばせていただきました

重井医学研究所 活動報告

研究所は腎臓疾患の病態解明を目指し日々研究を行っています。具体的な研究内容は、「新たなゲノム編集技術を用いた腎臓病モデルラットの開発」「アルポート症候群実験動物モデルラットの作製と腎臓病の病態の解明」や、「急性腎不全モデルマウスにおける腎線維化の分子メカニズムの解明」「糖尿病性腎症モデルマウスを用いた分子遺伝学的解析」「腎炎発症のメカニズムの解明とそれに関わる遺伝子の探索」「常染色体優性多発性嚢胞腎に関する細胞生物学的解析」などです。

今年度は、私たちが開発した rGONAD 法の講演会・講習会を積極的に行いました。その研究内容をまとめ国際誌に掲載された論文が、「その国際誌で最も読まれた論文」として表彰を受けました。また、常染色体優性多発性嚢胞腎に関する細胞生物学的解析は、「多発性嚢胞腎原因タンパク質 Pkd2 は分裂酵母において小胞体に局在し、カルシウムシグナル制御に重要である」という内容で、国際誌に掲載されました。

2023 年度、松山部長は、公益財団法人ウエスコ学術振興財団から、学会等に論文として発表することで学術的に評価された研究実績を上げた研究者に贈られる優秀研究者賞を受賞しました。また古家野研究員が「ADPKD 原因分子に対するモノクローナル抗体の作製と治療への応用」という研究題目で川崎医学・医療福祉学振興会から表彰



を受けました。

他の研究機関との共同研究も積極的に行っています。2024 年 2 月現在における共同研究は、東京大学・京都大学・名古屋大学・東北大学・北海道大学・大阪大学・岡山大学・香川大学・理化学研究所など 20 以上の公的機関にのぼります。また岡山大学医学部にも引き続きゲノム編集などの実験技術の指導を行っています。さらに松山部長は、岡山実験動物研究会の理事運営、鳥取大学医学部の客員教授も兼任しています。

地域貢献として、倉敷青陵高校との職場体験学習や課題研究の指導、小児療育部との科学教室を行っています。また今年から、はあもにい倉敷とのコラボレーションで、創和会職員ではあもにい倉敷を利用している親子でサイエンスツアーを開催しました。このような活動を通してさまざまな地域の人達と触れ合うことができました。来年度も研究所内外を問わず研究・地域貢献活動を行い、創和会全体の発展に貢献できればと考えています。

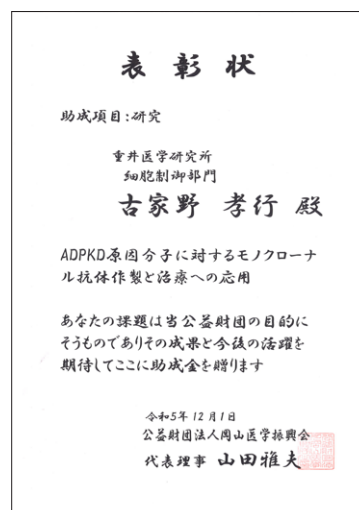
(北村)

古家野主任研究員が研究助成を受賞！

細胞制御部門の古家野孝行主任研究員が、公益財団法人岡山医学振興会の 2023 年度第 23 回公募助成を受賞しました。助成研究題目は「ADPKD 原因分子に対するモノクローナル抗体作製と治療への応用」です。

「ずっと不採択が続いていたこの助成ですが、やっと受賞することができました。研究を支えていただいた皆さまのおかげに感謝いたします。研究所が長年、開発・改良してきた抗体作製技術を活かし、嚢胞腎の診断や治療に利用できるモノクローナル抗体の作製を目指します」とコメントをいただきました。

(北村)



新春お年玉オンライン抽選会 2024

お年玉オンライン抽選会委員

■しげい病院	水津 裕子（医療支援部）	松田 圭市（IT 推進・情報管理室）	松本 純子（検査健診部）
■研究所附属病院	石井 健太郎（事務部）	藤雄 万里衣（薬剤部）	栗原 玲音（事務部）
■はあもにい倉敷	立川 真也（本部）	竹井 順子（Culture team）	
■幸町記念病院	矢吹 静香（事務部）	大賀 一希（事務部）	
■本部	植田 早苗		

2023 年から始まった「お年玉オンライン抽選会」が、今年は幸町記念病院も加わり開催されました。

今年も皆さんが楽しんで、そして欲しい物がもらえて喜んでもらえるようにと委員で考えました。賞品は種類を増やし 17 種類をそれぞれ 3 名の方に、当選されなかった方から 2 名の方に W チャンス賞が当たるようにしました。昨年の反省を踏まえ、職員の皆さんに抽選会を知ってもらい参加いただけるように、各所へのポスター掲示・チラシ設置をしました。結果 1,074 名の方にご応募いただきました。

当日の抽選の様子を今年も YouTube でライブ配信しましたが、皆さんご覧いただけましたか？当選した方もされなかった方も抽選会を楽しんで

もらえていたらうれしいです。

最後になりますが、理事長、たくさんのプレゼントありがとうございました。来年もまたよろしくをお願いします!!



▲オンライン抽選会の様子

「病院案内パンフレット」をリニューアル！

研究所附属病院 事務部 総務課 栗原 玲音

研究所附属病院の「病院案内パンフレット」をリニューアルいたしました。

それまでの病院パンフレットは、入院に関する内容が主で、外来診療についての内容がありませんでした。



▲ぜひ見てください！

今回作成するにあたって、ターゲットを医療機関に設定し、研究所附属病院の外来診療・地域医療・入退院支援に焦点を当て制作をいたしました。写真や原稿を全てリニューアルし、このパンフレットを手にとった医療機関の方に研究所附属病院について更に理解してもらえるよう内容を整理し、構想から数えると実に 2 年弱の制作時間がかかりました。

診療科紹介より後ろのページでは、実際のシーンを想像させる写真を目指し、中には患者さんにもご協力いただき撮影を行いました。

ただこの制作で終わりではありません。医療業界が日々進歩するようにこのパンフレットも毎年リニューアルを予定しています。研究所附属病院の特徴や、診療内容を明確に伝えられるようこれからもアップデートをしてまいります。



創和会本部 経営管理部 主任 立川 真也（はあもにい倉敷 担当）

2024 年春夏期新規講座のご紹介

今期は新規・増設講座 23 講座を開講予定で、盛りだくさんの内容になります。

運動講座では、「骨盤底筋ピラティス」がおすすめです。コンチネンスケアだけでなく、姿勢改善も目的とした講座です。

夕方からの講座の時間帯では、「カラダ整え講座」。ロシアの護身術「システマ」などバラエティーに富んでいます。

外国語講座では、「中国語」「フランス語」も新たなラインアップとして加わります。音楽講座では、「ウクレレ」「ギター」が朝の時間帯、夕方の時間帯で開講。

子供向けには「りとみっく」が新規で開講されます。“三つ子の魂百まで”といいますが、乳幼児期～幼少期のリズム感・音感が一番育まれるこの時期に、お子さんと一緒に参加されるのはいかがでしょうか？

工芸講座では、「粘土フラワー」「金継ぎ」「ポーセラーツ」「アートクレイシルバー（銀粘土）」。教養・実務講座では、「社会人基礎力アップ講座」。その他の講座では、最近話題の「セルフ腸もみ」「足もみ」「金運アップ字で人生を変える筆跡改善」「シニアのためのセルフメンテナンス」があります。

人気講座で増設する講座もあります。昨年から開講している韓国語講座は 4 月から「ほのぼの韓国語（初級Ⅰ）」と題し、初心者コースの新規増設が決まっています。「カワイ体育教室」は火曜日に増設します。子供が今持っている力を発揮して、無理なく楽しみながら運動ができることを基本とした指導でとても人気です。

ご興味があるものがきっと見つかると思います。見学・体験も受け付けております。詳しい内容ははあもにい倉敷ホームページをご覧ください。



▲骨盤底筋ピラティス



▲りとみっく

「ヤクルト愛の車いす」キャンペーン

皆さん一度は飲んだことがあるヤクルト。

ヤクルトでは以前から、岡山県内のヤクルト販売株式会社 3 社とヤクルト販売店親交会、ヤクルトビューティの会による「ヤクルト・チャリティーセール」が行われており、その収益金により「愛の車いす」を福祉施設・病院に寄贈されているそうです。

「車椅子がもらえるらしいですよ！申し込んでみましょうか？」というスタッフの意見もあり申請してみたところ、なんと寄贈していただけることになりました。

「社会福祉活動にご利用してください」とのことで、はあもにい倉敷の様々な場面で大切に使用させていただきたいと思います。



はあもにい倉敷は医療法人創和会グループの健康増進施設です。

確し物案内

重井薬用植物園

植物園を楽しむ会

「雀隠れの花々を楽しむ」

日時：3月24日（日）

10：00～12：00

会場：重井薬用植物園

編集後記

●春の足音が近づく時期になりましたが、北へ北へ……と足を運ぶと景色は大きく様変わります。朝早く目覚めて、夜明け前に出発。朝焼け～日の出を見ながら運転。現地近くなると「青い空と白い雪のストライプの大きな布を神様が目の前で広げたら…」を聴きながら、雪景色で気持ちが昂ります。無知な若かりし頃はノーマルタイヤで運転。カーナビ、携帯電話も普及していない時代、今思えば恐ろしい。25年前くらい、当時、現地の状況を確認するには、自動音声の電話のみで分かるのはリフト運行状況・積雪量・天気予報のみ。現代社会は情報量豊富です。現地ではエッジを利かせて滑走感、疾走感を楽しみながら、時間の経過とともに様々な美しい景色を披露してくれる雪山。自然の恵みに感謝、感謝です。近場の雪山の良さを発見しながらも、5,000 m級のロングクルージングを楽しみたい。そして脚力があるうちに日本一の最大斜度に行ってみたい！（WR）

●皆さん、この冬はいかがお過ごしでしょうか？冬は県北へ雪遊びに行くのが我が家の恒例となっていました。が暖冬でなかなか雪が積もりません。先日、少し雪が積もり遊びに行ったときに子供がスノーボードにトライしました。子供は飲み込みが早く、数時間後にはある程度滑れるように。この冬は子供とスノーボードができることを夢見て、あと何回か行けたらと思っています。（OK）

【「しげい腎クリニック早島」開院時職員について】

2024 年度秋に開院予定の「しげい腎クリニック早島」開院時職員が決定しました。

氏 名	職種	開院時 役職 (予定)	現 職	4月1日付辞令
松原 龍也	医師	院長	しげい病院 内科部長・ 副血液浄化療法センター長 (兼) しげい腎クリニック早島 開院準備室 責任者	
田中 昭彦	臨床 工学 技士	統括 マネ ジャー	研究所附属病院 事務次長 (兼) 医療技術部副部長・医 療安全管理室 (兼) しげい腎クリニック早島 開院準備室 統括マネジャー	しげい腎クリニック早島開院 準備室 統括マネジャー (兼) 研究所附属病院 医療 技術部副部長 臨床工学部 責任者
松田 佳子	看護師	マネ ジャー	しげい病院 看護部 副看護部長 (兼) しげい腎クリニック早島 開院準備室 マネジャー	
武智 和希	臨床 工学 技士	副主任	研究所附属病院 臨床工学部 副主任 (兼) しげい腎クリニック早島 開院準備室 副主任	
森安 哲也	事務	係長 補佐	しげい病院 医療支援部 係長補佐	しげい腎クリニック早島開院 準備室 係長補佐 (兼) しげい病院 医療支援部 係長補佐
川上 弥生	看護師		しげい病院 看護部 血液浄化療法センター	
石川麻依子	臨床 工学 技士		しげい病院 臨床工学部	
松浦 哉子	看護師		研究所附属病院 看護部 血液浄化療法センター	
小野 和美	看護師		研究所附属病院 看護部 血液浄化療法センター	
井並 宏樹	臨床 工学 技士		研究所附属病院 臨床工学部	
田路 雄基	臨床 工学 技士		研究所附属病院 臨床工学部	
小倉 征子	事務		研究所附属病院 事務部	

4月1日付け以外の異動は、9月頃を予定しています。



医療法人 創利会

生きることの尊さと健康であることの幸せを、すべての人と共に

WEB 版はこちら。
バックナンバーも
ご覧ください。



しげい病院

〒710-0051 倉敷市幸町2-30
TEL086(422)3655 FAX086(421)1991

岡山しげい訪問看護ステーション

岡山しげい居宅介護支援事業所
〒710-0202 岡山市南区山田2117
TEL086(282)4300 FAX086(282)4301

重井医学研究所附属病院

〒707-0202 岡山市南区山田2117
TEL086(282)5311 FAX086(282)5345

倉敷しげい訪問看護ステーション

倉敷しげい居宅介護支援事業所
〒710-0051 倉敷市幸町2-30
TEL086(422)8111 FAX086(421)1991

重井薬用植物園

〒710-0007 倉敷市浅原20
TEL086(423)2396

重井医学研究所

〒707-0202 岡山市南区山田2117
TEL086(282)3113 FAX086(282)3115

倉敷昆虫館

〒710-0051 倉敷市幸町2-30
TEL086(422)8207